

タイ国バンコク都-横浜市に関する都市間連携

バンコク都と横浜市は2013年にバンコク都における環境に配慮した持続可能な都市発展に向けた技術協力の覚書を締結し、専門家派遣や訪日研修の受け入れを通じて「バンコク都気候変動マスタープラン」の策定・実施を支援してきた。本事業では、両都市の協力関係を基盤とした公民連携を促進し、バンコク都の脱炭素化に向けた取組を政策レベル及びプロジェクトレベルの両面から推進していく。

タイ国バンコク都

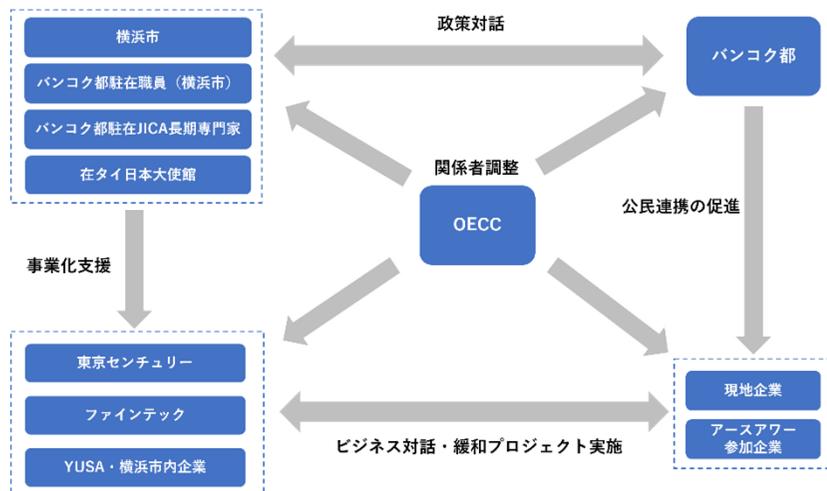
「バンコク都気候変動マスタープラン」に基づく緩和・適応策を実施し、長期目標として2050年ネットゼロを掲げている。

横浜市

2050年ネットゼロを目指す「Zero Carbon Yokohama」を掲げ、再エネ促進や他都市との連携を積極的に進めている。

タイ国バンコク都-横浜市に関する都市間連携

【体制図】



【事業活動・成果】

・活動：

- 「ネットゼロ実現に向けたバンコク気候変動とエネルギーアクション会議（2022年8月）」における都市間連携セッションを開催
- オンラインワークショップ「企業による脱炭素ビジネスの機会（2022年11月）」を開催
- 第2回ワークショップ「企業による脱炭素ビジネスの機会（2023年3月）」を開催
- エネルギーアクションプラン作成のための横浜市の知見・情報を共有
- 案件形成のための現地調査を複数回実施

・成果：

- バンコク都・横浜市による複数回のイベント開催を通じて、両都市及び民間企業による交流を促進し、案件形成に向けた連携につながった。
- 横浜市と専門家による支援によりバンコク都環境局気候変動戦略室によるエネルギーアクションプランの作成が進められた。
- 現地調査の実施により、複数の案件シーズが発掘され、MRV方法論やJCM設備補助事業の活用について検討が進められた。

【写真】

